

現状把握: アンケートの実施

広島大学病院女性医師支援センター運営委員会 アンケート

(大学病院には医歯薬保健学研究所の構成員も含む)

現在の大学病院, 大学教育関連病院(大学からの派遣)での医師総数, 女性医師数と割合(概数でも可)

総数 女性医師数 約()%

現在の大学病院, 大学教育関連病院で専門医を目指している医師総数, 女性医師数と割合(概数でも可)(詳細がわからなければ卒後〇年目までの医師数を書いてください)

総数 女性医師数 約()%

現在の大学病院, 大学教育関連病院に在籍している女性医師の経験年数と専門医取得状況

診療科所属後 5年未満	人 (専門医取得者数	人)
診療科所属後 5年 10年未満	人 (専門医取得者数	人)
診療科所属後 10年 15年未満	人 (専門医取得者数	人)
診療科所属後 15年以上	人 (専門医取得者数	人)

過去 5 年に専門医を取得した医師総数と女性医師数ならびに取得女性医師が大学病院/大学教育関連病院で勤務している人数

2016年度	総数	人	女性医師数	人(在籍女性医師数	人)
2015年度	総数	人	女性医師数	人(在籍女性医師数	人)
2014年度	総数	人	女性医師数	人(在籍女性医師数	人)
2013年度	総数	人	女性医師数	人(在籍女性医師数	人)
2012年度	総数	人	女性医師数	人(在籍女性医師数	人)

過去 5 年で, 専門医を取得後に大学病院, 大学教育関連病院を辞めた女性医師と理由(個人名はいりませんので, 理由をお願いします)

2012年度から16年度の5年間で大学病院, 大学教育関連病院を退職した医師総数と女性医師数

診療科所属後 5年未満	総数	人	女性医師数	人
診療科所属後 5年 10年未満	総数	人	女性医師数	人
診療科所属後 10年 15年未満	総数	人	女性医師数	人
診療科所属後 15年以上	総数	人	女性医師数	人

上記の5年間で大学病院, 大学教育関連病院を退職した医師の勤務形態(専任/非常勤)と理由

常勤 (男性	人, 女性	人)	
常勤以外の勤務形態(時短アルバイト)	(男性	人, 女性	人)
休職(男性	人, 女性	人)	
開業(男性	人, 女性	人)	
不明(男性	人, 女性	人)	

2012年度から16年度の5年間で, 産休・育休を有する女性医師の人数

約()人

上記医師での, 復職後の勤務形態

フルタイム	人
夜勤・当直業務なしのフルタイム	人
時短勤務	人
大学院生	人
その他	人

わかれば勤務形態を記述ください

後期レジデント勧誘の際, 女性医師獲得のために何か行っていますか?

毎回行っている

内容:

今後行う予定

内容:

全く行っていない, または行う予定はない

診療科(教育関連病院も含む)内で, モデルケースとなる女性医師がいますか?

いる

どのようなケース:

いない

人事上でライフスタイルに関わらず女性医師に求めることはありますか?

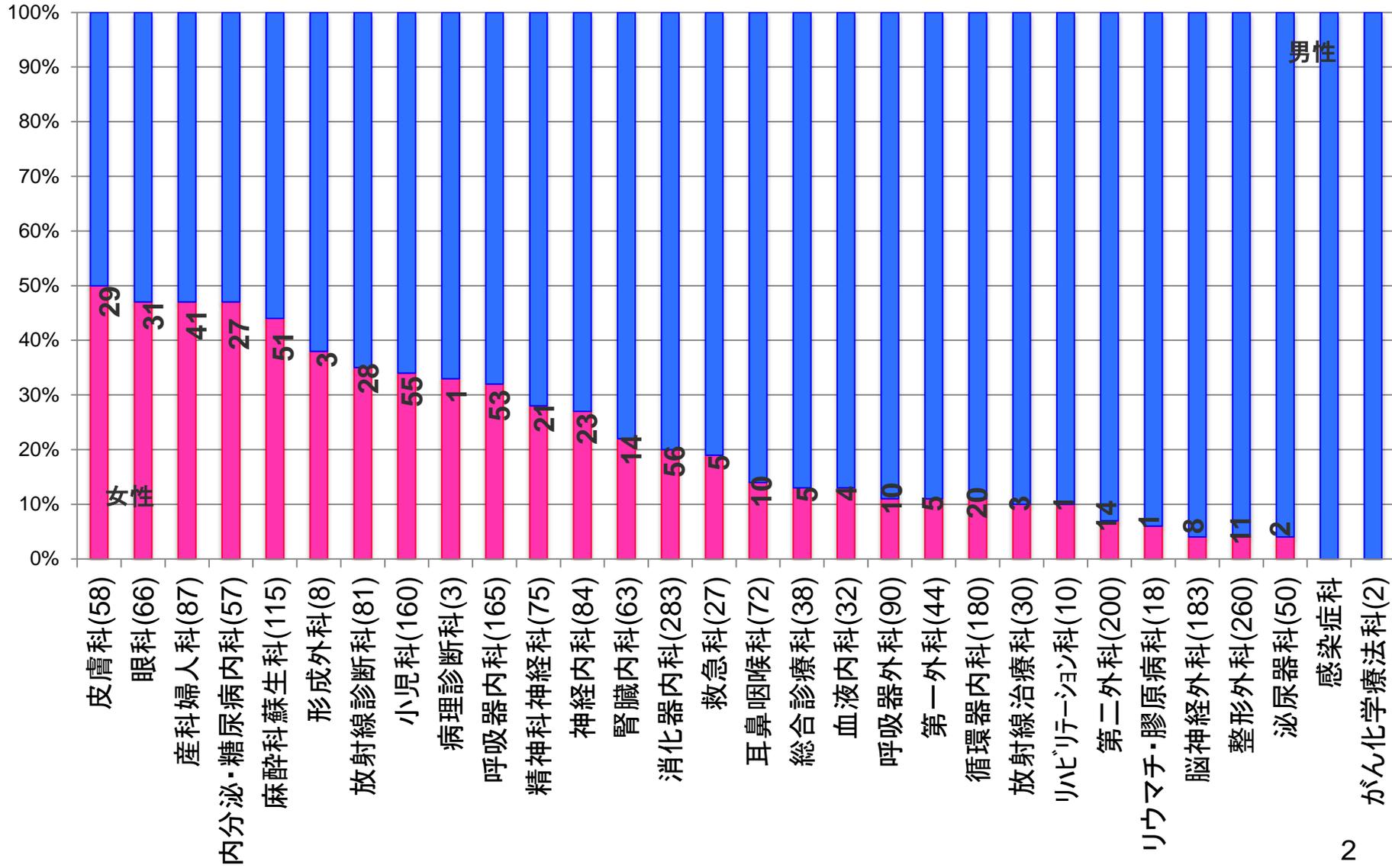
具体的内容:

診療科の専門医プログラムにおいて, 男女参画に関する配慮をしていますか?

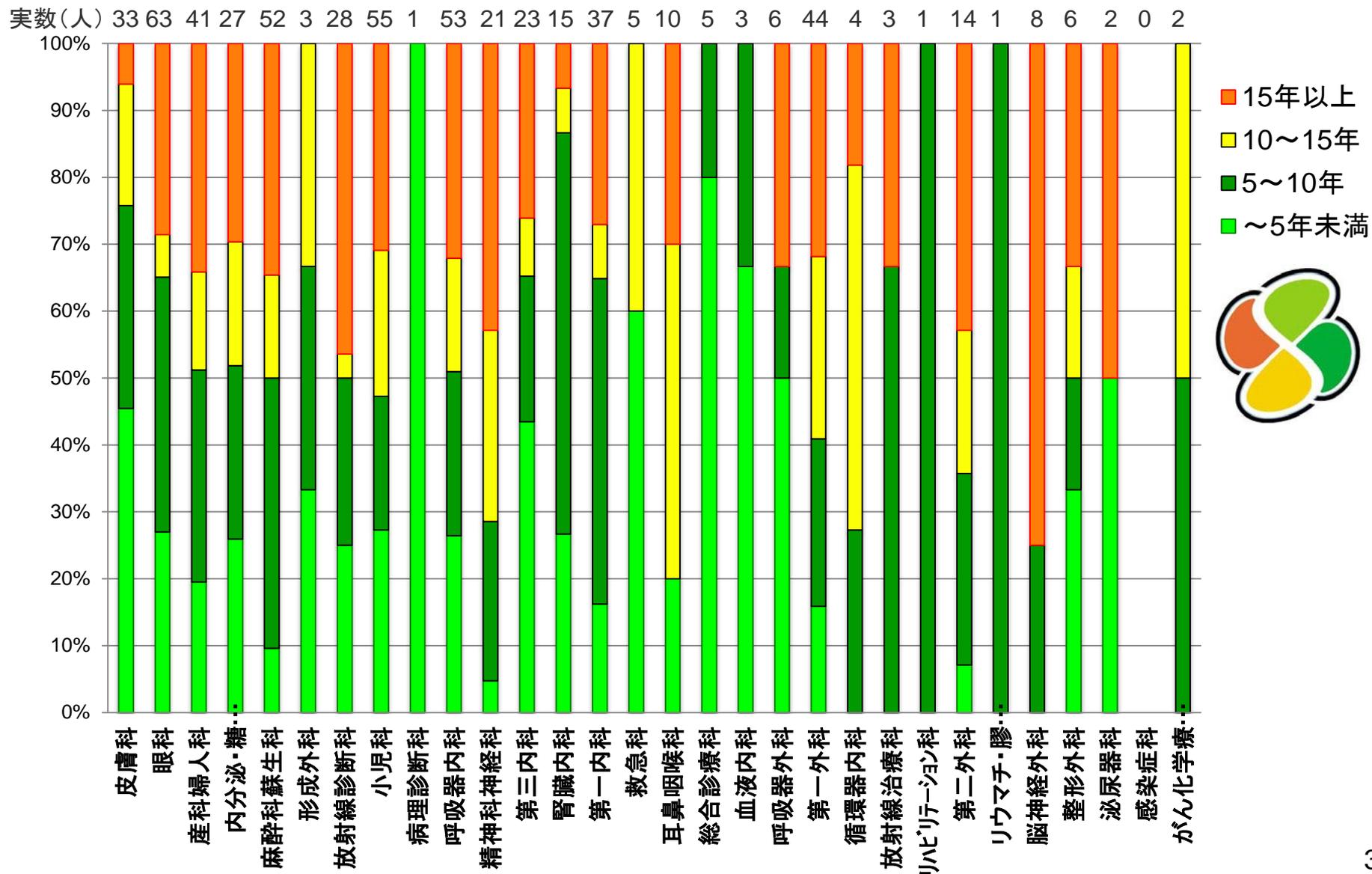
ある

具体的内容:

広島大学病院・関連教育病院 医師の男女割合

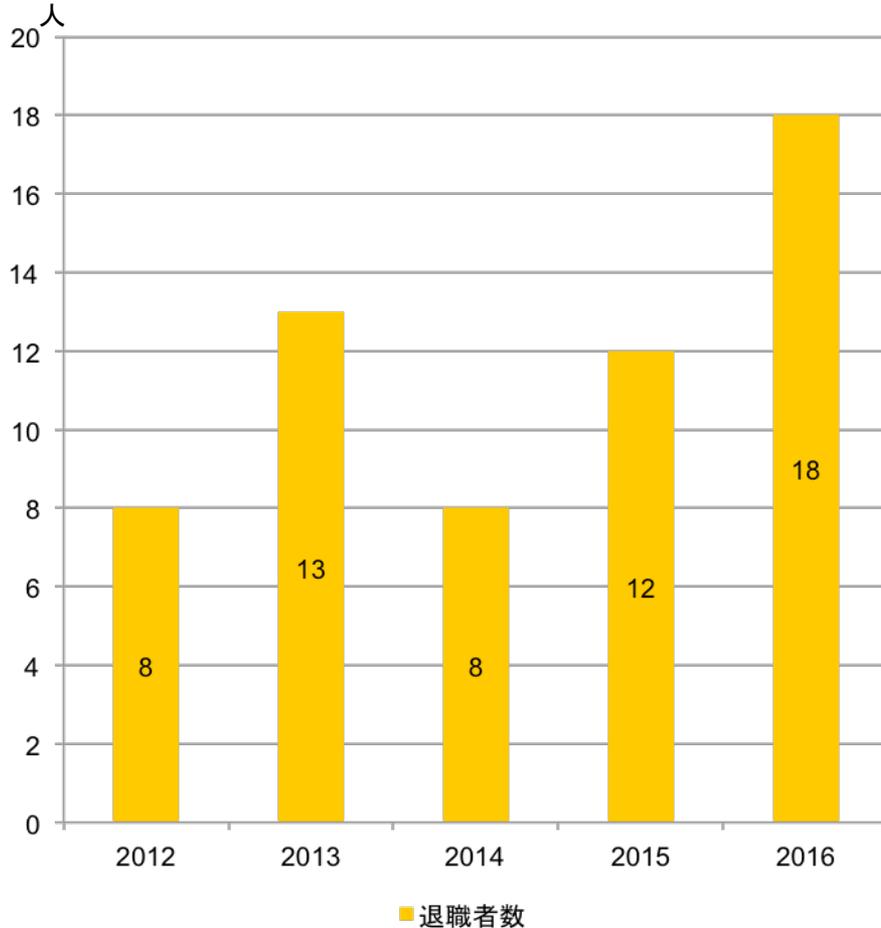


広島大学病院・関連教育病院における 女性医師の経験年数

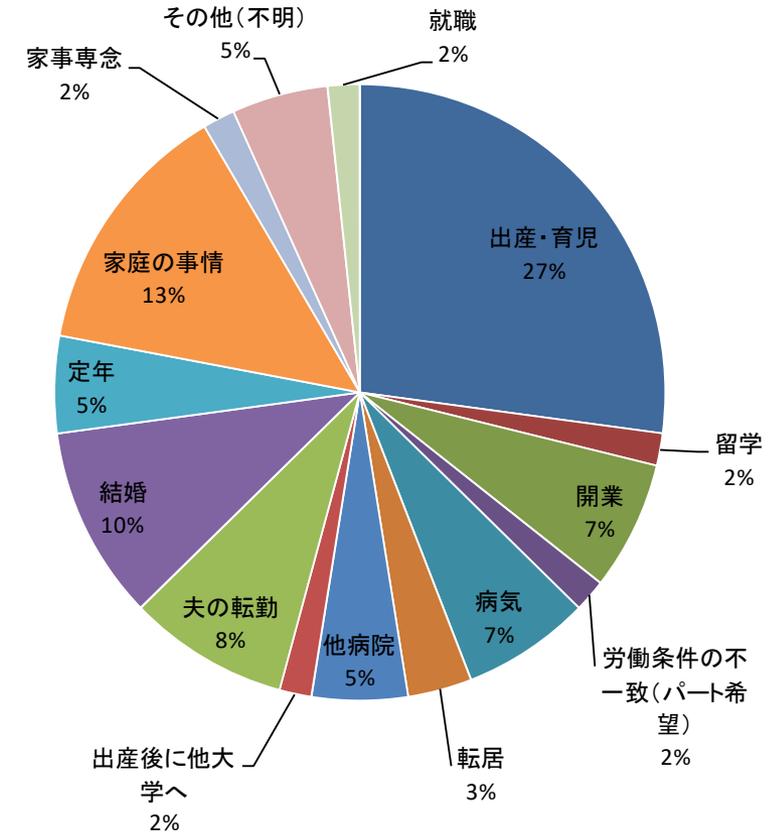


専門医を取得し、後に大学病院または大学教育関連病院を退職した女性医師数の年度別推移

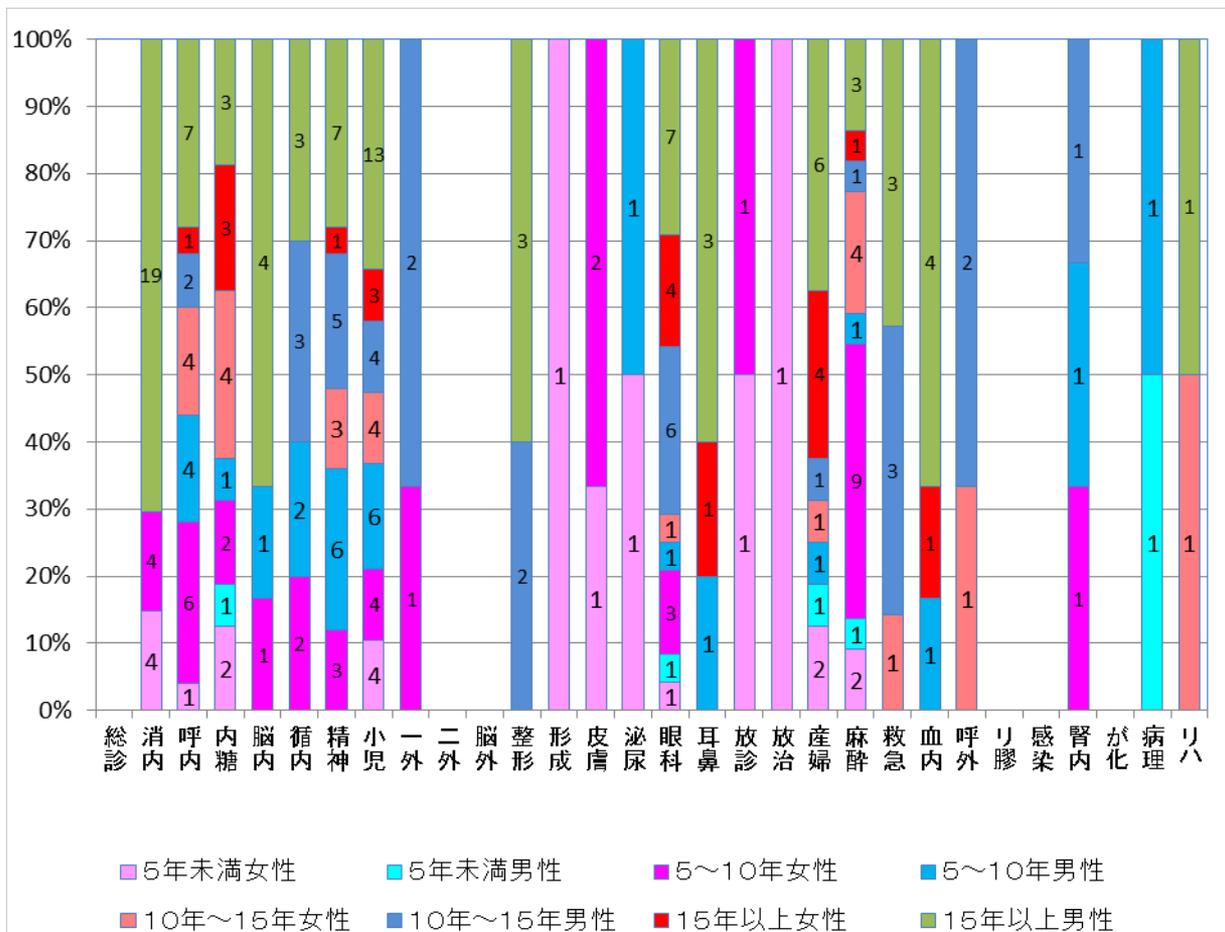
専門医を取得した後に退職した女性医師の数
 ※専門医取得状況を把握していない診療科もあり



左表の退職理由別割合

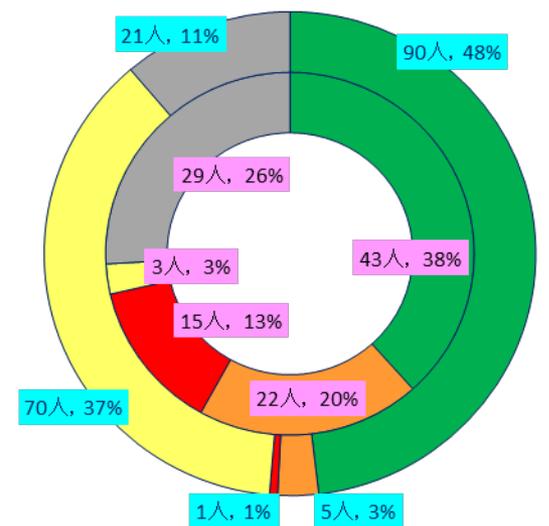


過去5年間で大学病院，大学教育関連病院を退職した 医師の各診療科男女別割合と退職後の勤務形態



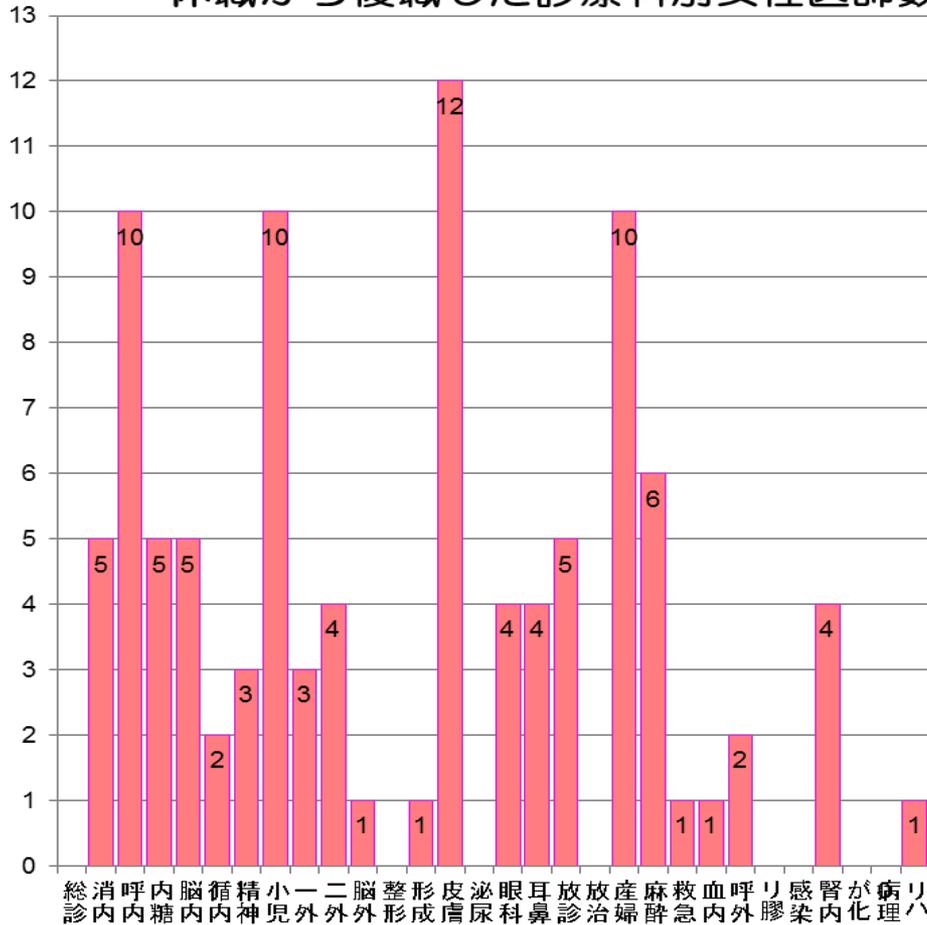
※グラフ内数字は、人数，性別年数は、診療科等所属年数

診療科等を退職後の勤務形態
(男性：外側，女性：内側)

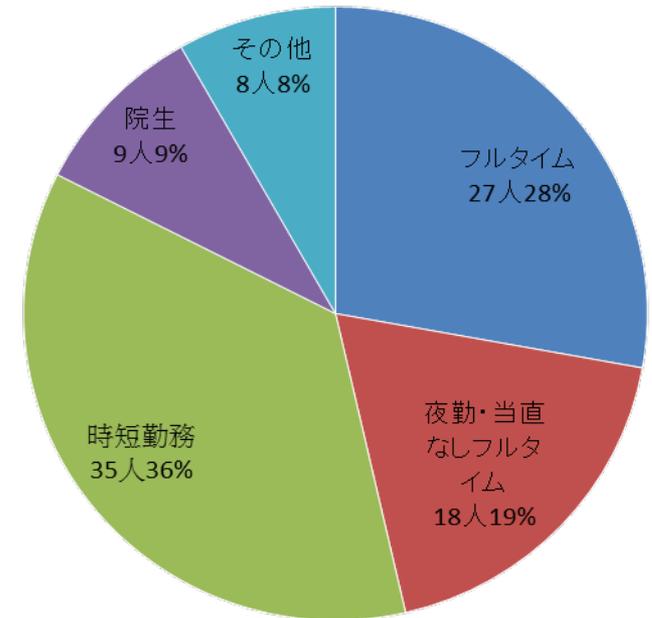


過去5年間で、産休・育休などの休職から復職した 女性医師の勤務形態

休職から復職した診療科別女性医師数



復職した女性医師の勤務形態



【設問15】女性医師支援に関して

意見・要望

アンケートの簡略化

今回のアンケート(後ろ向き)は一部把握できていない情報もあるため、女性医師個別にアンケートされるのも一考かと思いました。

医局でこのようなデータを記録していないので、大変しんどいアンケートでした。どこの医局も毎年データを残しているのでしょうか。

このアンケートがどのように役に立つのか、是非とも教えて欲しい。

院内保育園の定員増加・優先的入園、ベビーシッターの斡旋、複数主治医制導入の促進を希望いたします

女性医師の場合、色々とキャリアを取りうるので、柔軟的な対応が必要と考えます。選択肢は多いほうが良い。

院内保育園の定員が少ない(希望があっても入れない医師がおり、困りました)
 病児保育(必須と思われま)
 女性医師採用支援枠

託児所・保育所の絶対数が足りないので勤務の制限や困難をきたしている女性医師が多い。最近では病院に付設の保育所を持つところも増えたが、医師の異動の度に子供の託児施設のことを配慮する必要があり、異動に制約が大きい。大学病院の保育所は、病院職員でなくなったときには退去を求められるため、関連病院への異動を考慮すると利用しづらいという実態があります。

大学として、広仁会などの外郭団体が主体となって、勤務医の子弟のための託児所・保育所を運営してもらえるなら、勤務先の異動のたびに託児所・保育所を変えたり、探したりしないですむので、好都合です。実現のためには各病院付設の保育所を吸収するなどの方策も考慮して、**女性医師支援という観点から、是非共同利用のできる託児保育施設の設置を望みます。**

“大学教育関連病院”の定義がよくわかりませんでした。個人病院に医局派遣している場合など、人事について数年前のことは不明である場合も多く、十分答えられず申し訳ございませんでした。

有給や特休、産休は医師の権利なので、周知したほうがよいと思います。また、この問いを含め労働管理を事務方でしてください。時間外の管理など、働けば請求できるものではありません。